

都内私立中学高等学校
校 長
関係教職員殿

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 平方 邦行
(共催：公益財団法人東京都私学財団)



フュージョン教育研究会 ワークショップ 3 ポリシーを授業でつなぐ融合メカニズム ～生成 AI をパートナーにして～

■ 日 時 令和 8 年 2 月 20 日 (金) 18:00～20:00 (受付 17:30～)

■ 会 場 アルカディア市ヶ谷 (私学会館)

未来をつなぐ 3 つのポリシーを探る季節

師走の候、先生方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この季節は、入試や進学準備、卒業式の準備など、学校現場が一年で最も活気づく時期です。新たな出会いと旅立ちが交錯するこの時期、先生方の間でも、建学の精神と 3 つのポリシー（アドミッション・カリキュラム・グラデュエーション）がどのように結びつき、教育の流れを形づくっているのか、改めて思いを巡らす機会が増えているのではないのでしょうか。

フュージョン教育研究会では、これら 3 つのポリシーが日々の授業の中でどのようにつながり、循環しているのか、その“融合のしくみ”を探っています。建学の精神や教育理念が、単なる言葉ではなく、日々の教育活動の土台として息づくためには、3 ポリシーが有機的につながる仕組みが必要です。

では、そのつながりを日々の授業や教育活動の中でどのように実現していけばよいのでしょうか？ そのメカニズムを、皆さんと共に探り、創り上げていけたらと願っています。

お申込みをお待ちしております。

■ プログラム

- ① アドミッションポリシーとカリキュラムポリシーをつなぐ
～思考型入試問題のエッセンスと数学授業の関係を探る WS
- ② カリキュラムポリシーとグラデュエーションポリシーをつなぐ
～探究授業の思考とリフレクションの WS
- ③ 3 ポリシーをつなぐ仕掛け
～リフレクションをメタルブリック（思考コード）で可視化する WS

※どの WS も生成 AI をアウトリーチのサポーターとして活用する

■ 講師・ファシリテーターは研究会メンバーで進行（支部・学校名など）

本橋真紀子（⑤聖学院中学校高等学校 数学科教諭）

田中 歩（⑪工学院大学附属中学校高等学校 教頭・英語科教諭）

山口 貴史（⑪駒沢学園女子中学校・高等学校 数学科教諭）

■ 定 員 20 名（申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります）

生成 AI を使って授業づくりをしたり、生徒の考える視点を発掘することに関心のある先生方を主な対象としております。本研修会は、生成 AI そのものの研修ではなく、生成 AI の仕組みや発展的な技術については触れません。

■ 参加費 無 料（当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております）

■ ご参加にあたって

当日、生成 AI を利用するためのデバイス（できるだけキーボード付きのもの）をご持参ください。ご参加にあたっては、生成 AI のアカウント（無料版で可）が必要です。普段から使用されている生成 AI があれば、それをそのままご利用ください。なお、会場内では Wi-Fi をご使用いただけます。

■ 申込方法 2月10日（火）までに東京私学教育研究所HPよりお申込みください。

URL <https://k.tokyoshigaku.com>

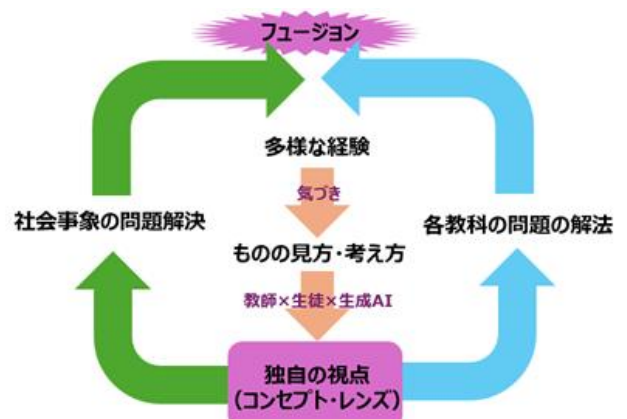


東京私学教育研究所 フュージョン教育研究会

担当：松田・本間 TEL 03（3263）0544

フュージョン教育研究会とは？

当研究所は、新たに所長の諮問機関のような役割を果たす「フュージョン教育研究会」を設置しました。2028年に小学校から順次公示される次期学習指導要領に先立ち、2025年度から2027年度までの3年間限定の研究会です。同研究会は、柔軟なカリキュラムマネジメントをするために多様な教育活動のフュージョンの可能性を追究することを目的にします。そのために、まず、生徒自身が教科どうしや教科と探究などを結びつける視点を見つける新たな「フュージョン教育」の考え方及び価値をリサーチすることから始め、来るべき日本の困難な局面に対応していきます。



天候の悪化や各種災害、それに伴う公共交通機関の対応などにより、実施方法（オンライン研修を含む）プログラムの変更や中止（延期）となる場合があります。その際には web 申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。